

日本発ドイツ便り:ドナウ河と石の橋

守備範囲を広げるべく、たまには初めての場所へ！ということで、バイエルンチケットを購入して、ドナウ河沿いの古都、Regensburg(レーゲンスブルク)に行ってきました。

ニュルンベルクから電車で1時間ちょっとです。レーゲンスブルク旧市街は、ドナウ川が湾曲した河畔にあって、1世紀の頃に、ローマ軍が、その急流と広い川幅のために川を渡れずに駐屯して以来の歴史がある、ということで2000年の歴史のある街で、12~13世紀には、交通、交易の中心地として繁栄したのだそうです。また、2つの世界大戦の被害をほとんど受けることなく、ローマの遺跡と中世の街並みが保存されている、ということで世界遺産にも登録されています。

ちなみに、この日の天気は曇り。雨の予報。最高気温がなんと15度という寒い日でした。(7月の話です)

もちろん地図は持ってないので、駅を降りて、「旧市街→」なんていう標識を頼りに歩いていきます。

駅前にこんな公園がありました。(広いです。)ここを歩いていきます。



途中にもなんかいい感じの建物というか風景がたくさんありました。



日曜日の朝だったので、人通りも少なく静かです。石畳と狭い曲がりくねった小道を歩いていきます。



Dom(ドーム:大聖堂)に到着。丁度日曜日のミサの途中でした。この大聖堂所属の、Domspatzen(ドームシュパツェン:大聖堂の雀たち)と呼ばれる少年合唱団が有名です。この大聖堂は12-13世紀に造られたバイエルンではもっとも重要とされるゴシック建築だそうです。小雨の降る中、空が暗いのが残念！



ドーム前の広場。建物が色鮮やかで綺麗です。
レストランにホテル、カフェなど、いつもたくさんの人でにぎわっています。

まずは、やっぱりドナウ河でしょう！と本能の赴くままに(!)突き進みます。
こんな細い路地がたくさん。(時には行き止まりになっています。)車は通れるのかな??
日曜でお店はお休みでしたが、ウインドウショッピングを楽しむ人も。



ドナウ河に到着！



これがドイツ最古の石の橋、Steinemebrücke(シュタイネルネブリュッケ)長さが 336 メートル、
微妙にカーブしながら、ドナウ河の両岸を結んでいます。1135-1146 年に造られたそうです。



橋の上で遭遇した中高年主体の自転車の団体。ドイツは自転車を持って電車に乗れるので、週末になれば、電車は自転車でいっぱいです。ドイツにはいわゆる「ママチャリ」というのはなくて、スポーツタイプの自転車がほとんどです。ヘルメットの着用が義務付けられています。それにしてもドイツ人って…。(スポーツだから特に、なのかもしれませんが)色使いが派手派手しいです。◎このあと観光しながらサイクリングでしょうね。何気なく混ざって、ガイドさんの説明を盗み聞きする私でした。



橋の上から見るドナウ、流れが速くて、ウィーンあたりで見るゆったりした流れのドナウとはちょっと別物でした。

橋から身を乗り出して落ちないように気をつけましょう。◎

橋の上をぶらぶら散歩していたら、なんと「太陽」が見えてきました!!やっぱり私は晴れ女です。



橋の向こうの風景。色とりどりですね。



河の中洲というか島みたいなどころにはなんとも不思議な形の家がありました。
こんな水辺で洪水とか大丈夫なんだろうか??と心配になりますね・・・

橋の上から、川岸に小屋が見えました。煙突から、もくもくと煙がでていて、人だかりができています。
テーブルもあるので、レストランのようです。なんだろう??



なんと！ドイツ最古のソーセージ屋さんでした。なんでも11世紀に石の橋を作る時、職人さんたちの飯場として造られたのだそうです。この街独自の Regensburger という小さなソーセージ(6本で1セットみたいです)にザウークラウトを添えて、というのが伝統的メニューだとか。
ドナウ河の流れと石の橋を眺めながら、炭火で焼いたソーセージとビールでいっぱい。いいですね〜。



夏の間は船でドナウ河クルーズも楽しめますよ。

ドナウ河だけで結構な量になってしまったので、旧市街編に続く・・・。

日本発ドイツ便り ~ドナウ河と石の橋~ von Eriko T. am 16/08/2009